

～～第8583回～～

大山（神奈川）

～H30・12・9～

雲行きを案じながら、かつては信仰の山として人気を集めていた丹沢の大山（1252m）に向かう。大山ケーブル駅バス停でワゴン車を降り、お土産物屋さんや旅館、食事処などが軒を連ねている石段の参道を15分程歩くとケーブルカー発着の大山ケーブル駅となる。始発の9:00までにはまだ時間がある為、健脚組3名は登山道を登り、6名はケーブルカーの出発を待つこととした。8:00スタートの登山組は急な男坂を避け女坂を登ることとした。整備されたスギ林をすぎ、紅葉の名所である大山寺の赤や黄色に色づいた紅葉を見ながら1時間程かけてゆっくり登った。始発ケーブルカーは満杯で周囲の紅葉の山を眺めながら途中大山寺駅で数名が乗車し終点の阿夫利神社駅まで6分で登る。阿夫利神社下社で登山組と合流し安全祈願後山頂に向け出発した。下社脇の急な石段を登り切りスギやカエデの鬱蒼とした混成林の中の登山道を20分程進み樹齢5～600年の夫婦杉の脇で小休止をした。しめ縄をしめた15丁目の天狗の鼻岩を過ぎると5分程で16丁目の蓑毛分岐となる。「頂上まで40分」と書かれた標識の脇で栃木県の団体グループと歓談し情報交換後山頂方向へ進む。暫く登ると西側が開けた富士見台広場があり箱根方面はうっすらと確認出来たが富士山は生憎雲に覆われて確認出来ない。富士見台を過ぎ「山頂まで200m」の標識のあるヤビツ分岐を過ぎると15分程で28丁目の大山山頂に到着した。登山道は岩や石が露出していて躓いたり、滑ったりしないようにと細心の注意が必要であった。山頂は家族連れや団体の登山者で賑わっており、南に相模湾や江の島がはっきりと見え、東に東京のビル群やスカイツリーがぼんやり確認出来る。山頂奥社の広場で昼食を摂り12:20下山を開始した。ヤビツ分岐まで戻り右手に丹沢山や塔ノ岳を見ながら整備された尾根道を車の待つヤビツ峠まで下った。途中パラパラと雪と思われる白い物も舞ったが間もなく止み、冬将軍の訪れる前の暖かい一日の山行きでした。

参加者：9名（沼津）

天候：曇

地図：大山

コースタイム：沼津 600＝大山ケーブルバス停 730…追分駅 900++阿夫利神社下社 906…夫婦杉 940…天狗の鼻岩 1025…蓑毛分岐 1030…富士見台 1050…ヤビツ分岐 1115…大山頂上本社(昼食) 1130-1220…ヤビツ分岐 1230…ヤビツ峠 1340＝沼津 1540

記録：沼津支部 Y・A